

## 高齢者福祉施策の見直しについて



質問者 鈴木 真徳 議員

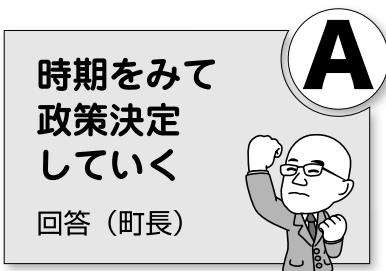
町では、小児医療の助成や高齢者に対する手厚い施策が数多く展開され、多くの町民が恩恵を受けている」とと思います。

そこまで  
平成28年度予

(1) 高齢者のインフルエンザワクチンの接種には1000円の自己負担ですが、近隣市町では1500円の自己負担をしているようになります。

松田町においても自己負担を増額しても、その財源を何か別の福祉施策に充當するようなお考えはありませんか。

(2) 敬老祝金が平成27年度予算で417万5千円が計上されています。敬



老会で70歳以上の方に段階的に渡されてくるとは思いますが、元気なお年寄りが増えているのではと考えます。この敬老祝金を見直すお考えはありますか。

(1) インフルエンザワクチンの接種率は、ここ数年47%前後で推移し、昨年は1638人で今年度は1700人を上回る見込みである。他の1市4

これまでの本山町政はソフト事業が多く、まちづくりの礎となる投資的事業が少ないようです。平成28年度以降の予算で、松田町の未来に繋がる次の事業についてお伺いします。



質問者  
田代 実議員

**松田町の未来に繋がる  
投資的事業を！**

町は、平成26年に自己負担1500円としたところ。松田町は、1000円のままである。フクチン単価が約600円値上がりをしたので、将来を見据えて、自己負担金額の改定を検討していきたい。

(2) 平成27年度の実績では、373万円を支出した。今後の敬老祝金の支

出予定額の推移を見ると、団塊の世代が高齢期に入り、29年度から70歳に到達者が200人を超えるなど急激な増加が見込まれる。

管内の1市4町をはじめ、近隣市町を参考にしながら、時期を見据え、皆様にお諮りして、政策決定していきたい。

(2) 砂利線跡地の整備事業  
昨年10月6日の全員協議会で今後の事業計画が示されました。事業計画とその財源・完成年度が不明瞭でしたので詳細説明を。



業 昨年12月議会で私の質問に対し、「常光沢に橋を架け砂利線跡地と一体的な町道の整備をしたい」という回答を町長からいただきました。今後の取り組みは。

(1) 事業進捗率は60%、  
平成32年度を完成目標  
に、事業費の55%は国の  
補助金を活用し、残りは

(2) 宅地造成と道路整備を一体的に整備する事業として捉え、官民連携の「公募型プロポーザル手法」などの採用を検討しているので、9月頃までに計画概要を示したい。この計画についても、地域の方の理解をいただきながら、事業を進めていきたい。



道路整備計画は優先度を考慮し対応  
(仲町屋町営住宅地内の町道)